

ピアノ / 音楽の最先端を聴く!!

熊本大学教育学部・大学院教育学研究科主催特別公演

現代ピアノ / 音楽の諸相

～イアン・ペイス氏を迎えて～

2024年6月24日(月)

開場 18:15

演奏楽曲解説 18:30

演奏会 19:00

場所 / 熊本大学黒髪北キャンパス 教育学部音楽棟 音楽ホール

熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

熊本駅・桜町バスターミナルからノ産交バス等：楠団地・光の森産交行き等（子飼経由）「熊本大学前」下車

出演 / イアン・ペイス (ピアノ、ロンドン大学シティ校教授)

稲森 安太己 (解説、熊本大学教育学部特任准教授)

入場料 無料 (予約制*)

対象 小学生以上

*当日お席に空きがない場合、ご予約のないお客様はご入場できないことがございます。

主催：熊本大学教育学部・大学院教育学研究科

共催：コガネイカルチャー、熊本大学音楽理論研究室

連絡先 (予約) / 熊本大学音楽理論研究室 (稲森) yinamori@educ.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学
Kumamoto University

現代ピアノ音楽の諸相

ピアノは西洋クラシック音楽の花形楽器として高い人気を誇る楽器です。特に、19世紀ロマン派の時代には、多くのピアニスト作曲家が超絶技巧的と呼ばれる高難度の演奏技術を開拓し、その楽曲はレパートリーとして定着してきました。ピアニストのヴィルトゥオジティ（名技性）は、今日でも作曲家のインスピレーションであり続けています。

この度、熊本大学教育学部では世界的ピアニストのイアン・ペイス氏（ピアニスト、音楽学者、ロンドン市立大学教授）をお招きし、公演会を開いていただくことになりました。ペイス氏は現代の新しい音楽のスペシャリストで、特にイギリスを中心に流行した「新しい複雑性」という音楽潮流の中で生まれた作品の演奏で優れた評価を受けています。本公演では、「新しい複雑性」の音楽の中心人物である作曲家ブライアン・ファーニホウの近作や本学教育学部音楽科教員の稲森安太己による新作を取り上げます。また、ピアノのヴィルトゥオジティの系譜を眺望する意味で、ロマン派のピアニストであるリストがピアノ用に編曲したベートーヴェンの交響曲と合わせて演奏いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

〈プログラム〉

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 作品92（リスト編曲）

カールハインツ・シュトックハウゼン：ピアノ曲 IX

ブライアン・ファーニホウ：渦巻き ～自己類似リズムによる練習曲

高橋悠治：メタテシス

稲森安太己：ピアノ・エチュード 第2集（世界初演）

* 曲目は変更になる可能性があります。



©Photo by Samuel Andreyev

* 表面楽譜／稲森安太己《ピアノ・エチュード 第2集》より、©2024 by Edition Gravis Verlag GmbH

〈プロフィール〉

イアン・ペイス Ian Pace

オックスフォード大学、ジュリアード音楽院などでピアノを学ぶ。カーディフ大学博士号取得（音楽）。現在、ロンドン大学シティ校社会学部音楽・文化・社会科学教授。ピアニストとして現代の新しいピアノ音楽作品をこれまでに300曲以上初演。卓越した技術と音楽性で多くの作曲家から信頼を得て、協働している。40枚以上のCDをリリースし、特にイギリスの「新しい複雑性」の音楽の普及に貢献している。